

パリアブルギヤレシオシステム/VGRS システム / 作業サポート

ステアリングセンサ0点取得

■ 参考 ■

- バッテリマイナスターミナル取りはずし、ステアリングセンサのコネクター切り離しのいずれかの作業を行うと、ステアリングセンサの0点は消去される場合がある。
- ステアリングセンサの0点が未取得の場合でも、マスターコーションランプは点灯しない。

- a. エンジンを始動する。
- b. ゆっくり左右1回転のステアリング操作を2-3回行う。
- c. メータ車速35km/h以上で5秒間以上、直進走行する。

アクチュエータ角中立補正および初期化(TaSCAN使用時)

■ 注意 ■

ステアリングオフセンタの原因となるため、ステアリング←→タイヤ間の部品を脱着・交換・調整した場合は、必ずアクチュエータ角の中立補正および初期化を行うこと。(詳細は参照)

1.タイヤを直進状態にする

■ 注意 ■

必ず車両を直進走行させて、タイヤを直進状態にする。


次へ

2.アクチュエータ角中立補正および初期化

SST

09991-70200

■ 注意 ■

- 作業中は、ステアリングに触らない。
- 車速は、4km/h以下にする。

- a. IG OFFにする。
- b. SST(TaSCAN)をDLC3に接続する。
- c. IG ONにする。
- d. SST(TaSCAN)の表示画面の”作業サポート”→機能メニューの“アクチュエータ角中立補正”を選択する。
- e. SST(TaSCAN)の表示画面に従って、アクチュエータ角中立補正および初期化を実行する。

■ 注意 ■

初期化に失敗した場合は、再度、初期化を実施すること。初期化に失敗すると、マルチイン

フォメーションディスプレイに“VGRSシステム
チェック”が表示され、メーター内にてマスタ
ーコーションランプが点灯します。

マルチインフォメーションディスプレイ



結果

結果	飛び先
実行中に“ステアリングを中立位置に 修正する作業を実施後に再度、中立 補正を実施して下さい。”と表示され た	A
正常に終了した	B

B

終了

A

3.システムロック解除

SST

09991-70200

■ 注意 ■

車両およびエンジンは停止状態にする。

- SST(TaSCAN)の表示画面の“作業サポート”→機能メニューの“システムロック解除”を選択する。
- SST(TaSCAN)の表示画面に従って、システムロック解除を実行する。

次へ

4.ステアリング中立出し

- ステアリングを中立位置にする。

■ 参考 ■

ステアリング取り付け時に、エアバッグのスパイラルの中立確認ができていない場合は、必ず中立確認を行う
こと。(要領は  参照)

次へ

5.システムロックおよびアクチュエータ角中立補正

SST**09991-70200**

- a. SST(TaSCAN)の表示画面の“診断”→“シャシ”→“VGRS”→“作業サポート”→“システムロック”を選択する。
- b. ステアリングを3° 程左右に操舵し、ステアリングに反力があることを確認する。

■ 注意 ■

- ステアリングを3° 程左右に操舵しないと、しばらくしてダイアグノーシスコードを検出する。
- 必ずIG ON、エンジン OFFの状態で行う。

- c. SST(TaSCAN)の表示画面に従って、システムロック解除およびアクチュエータ角中立補正を実行する。

次へ**終了**

アクチュエータ角中立補正および初期化(TaSCAN未使用)

■ 注意 ■

ステアリングオフセンタの原因となるため、ステアリング←→タイヤ間の部品を脱着・交換・調整した場合は、必ずアクチュエータ角の中立補正および初期化を行うこと。(詳細は参照)

1.タイヤを直進状態にする

■ 注意 ■

必ず車両を直進走行させて、タイヤを直進状態にする。

次へ

2.ダイアグノーシスコード確認

- a. ダイアグノーシスコードを確認する。(要領は参照)

結果

結果	飛び先
ダイアグノーシスコードC1591/51を出力しない	A
ダイアグノーシスコードC1591/51を出力する	B

B

手順4へ

A

3.アクチュエータ角初期化

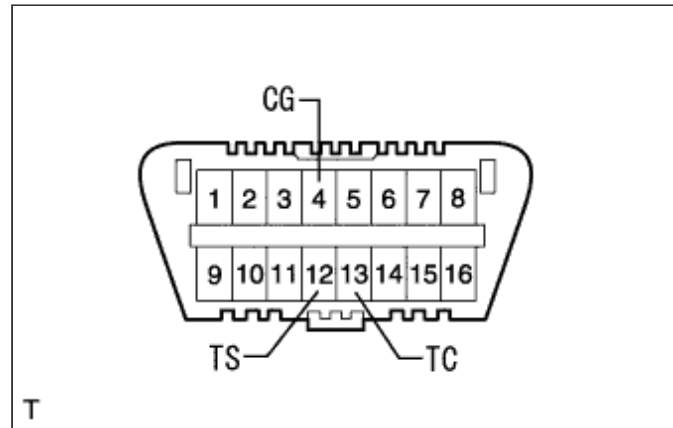
SST

09843-18040

■ 注意 ■

手順の(*1)から(*2)が1分以内で作業を終了しなかった場合や途中で作業を誤った場合は最初からやり直す。

- a. エンジンを始動する。
- b. ステアリングを中立位置にする。
- c. 車両停止状態で、SSTを使用して、DLC3の12(TS)-4(CG)および13(TC)-4(CG)端子間を短絡する。(*1)
- d. DLC3の12(TS)-4(CG)端子間を開放する。
- e. ステアリングを左側に180° 以上操舵する。
- f. DLC3の12(TS)-4(CG)端子間を短絡する。
- g. DLC3の13(TC)-4(CG)端子間を開放する。
- h. ステアリングを右側に180° 以上操舵する。
- i. DLC3の13(TC)-4(CG)端子間を短絡する。(*2)



■ 参考 ■

この時、マルチインフォメーションディスプレイに“VGRS システムチェック”が表示され、ダイアグノーシスコードC1591/51を記憶する。

マルチインフォメーションディスプレイ



次へ

4.ステアリング中立位置確認

- a. タイヤを直進状態にしたとき、ステアリング位置が中立位置か確認する。

■ 注意 ■

必ず車両を直進走行させて、タイヤを直進状態にする。

結果

--	--

結果	飛び先
ステアリングが中立位置ではない	A
ステアリングが中立位置である	B

B

手順8へ

A

5.システムロック解除

■ 注意 ■

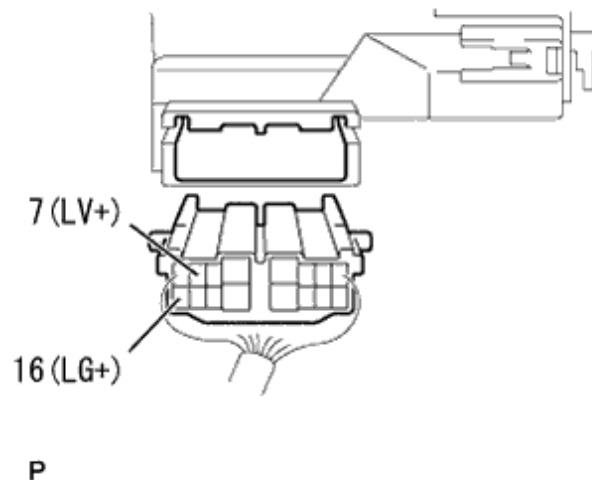
ロック解除は、必ず停車中に行う。

- IG OFFにする。
- バッテリー端子をはずす。(要領は参照)
- ステアリングアクチュエータASSYのコネクターを切り離す。
- 自動車用12Vバッテリーを使用して、ステアリングアクチュエータASSYのワイヤハーネス側コネクターの7(LV+)端子にバッテリープラス、16(LG+)端子にバッテリーマイナスを接続し、12Vの電圧を加える。

■ 注意 ■

3分以上、電圧を加えない。

ステアリングアクチュエータASSY



次へ

6.ステアリング中立出し

- ステアリングを中立位置にする。

■ 参考 ■

ステアリング取り付け時に、エアバッグのスパイラルの中立確認ができていない場合は、必ず中立確認を行うこと。(要領は参照)

次へ

7.システムロック

- a. ステアリングアクチュエータASSY側のコネクタに接続している自動車用12Vバッテリーを切り離す。
- b. ステアリングアクチュエータASSYのコネクタを接続する。
- c. バッテリ端子を取り付ける。(要領は参照)
- d. ステアリングを3° 程左右に操舵し、ステアリングに反力があることを確認する。

■ 注意 ■

- ステアリングを3° 程左右に操舵しないと、しばらくしてダイアグノーシスコードを検出する。
- 必ずIG ON、エンジン OFFの状態で行う。

次へ**8.アクチュエータ角中立補正****SST****09843-18040****■ 参考 ■**

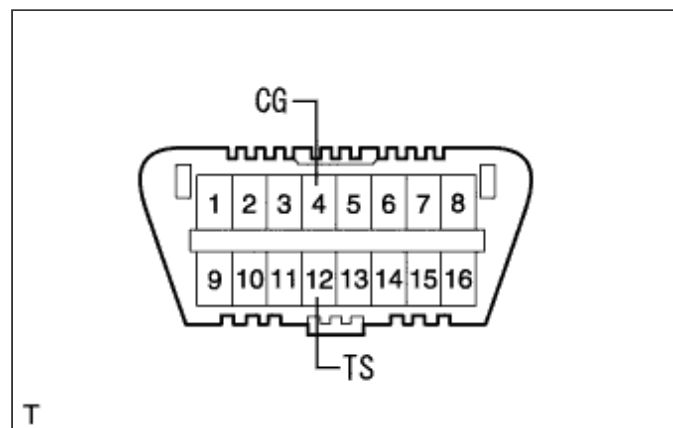
テストモード起動→テストモード終了させることで、アクチュエータ角中立補正が完了する。

- a. テストモード起動方法
 - i. IG OFFにする。
 - ii. SSTを使用してDLC3の12(TS)-4(CG)端子間を短絡する。

■ 注意 ■

故障の原因となるため、コネクタの接続位置を間違えない。

- iii. IG ONにする。



- b. テストモード表示確認
 - i. テストモード起動時、マルチインフォメーションディスプレイに“VGRSテストモード”が表示され、テストモードに移行したことを確認する。

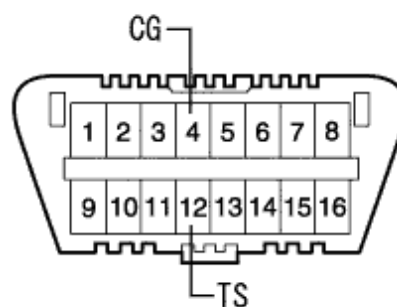
■ 参考 ■

この状態で約5秒待つこと。

マルチインフォメーションディスプレイ

**VGRS
テストモード****ODO 999999****c.** テストモード終了方法

- i.** IG OFFにする。
- ii.** DLC3の12(TS)-4(CG)端子間を開放する。
- iii.** IG ONにする。



T

次へ**終了**

